

経済指標レポート 第231号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel: 06 - 6441 - 0102 Fax: 06 - 6441 - 0443

<http://www.kankeiren.or.jp>

足下の関西経済は引き続き改善が続いている。こうした景気の良さを実感できる指標のひとつが、全国を上回る好調さを見せている雇用である。2月の近畿の有効求人倍率は1.11倍(全国1.05倍)で、引き続き全国を上回る数値で推移している。特に、少子化を背景に大卒の求人総数はバブル期を上回り、全国では過去最大の93.3万人となった。採用状況は「氷河期」を脱し「温暖化時代」に入ったとの指摘もある。

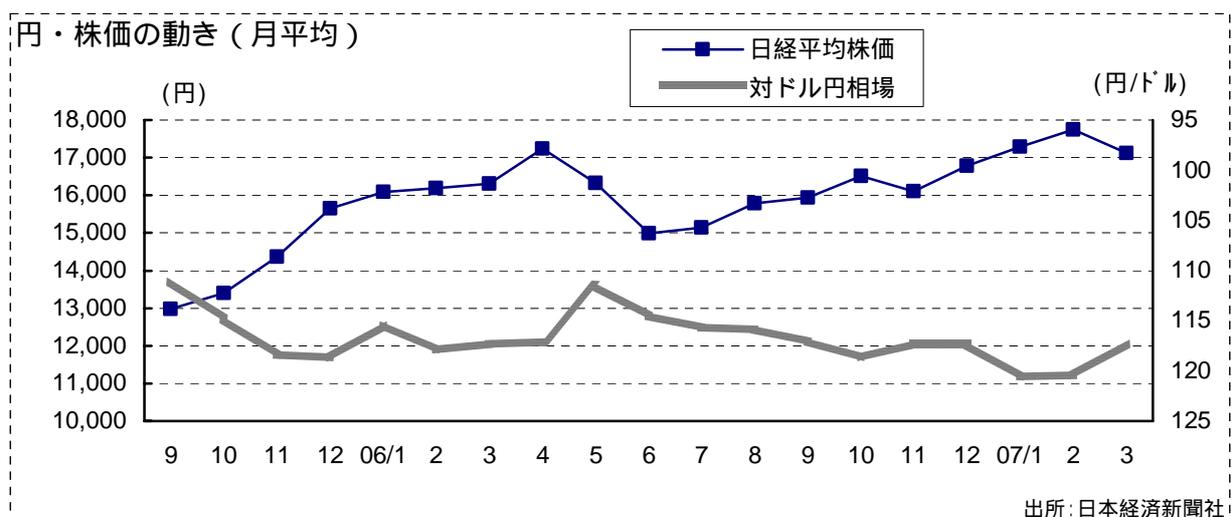
今後の見通しについては、雇用を支える生産や設備投資の動向を注視する必要がある。生産については、60ヶ月連続でプラスとなった輸出に牽引されるものの、全国と同様ほぼ横ばいの水準を続けている。

一方、設備投資は足下の機械受注は横ばいであるが、好調であり、3月の日銀短観調査によると、2007年度の設備投資計画は、全産業ベースで近畿は前年度比0.1%増(全国0.3%減)と5年連続で前年を上回る計画となっている。

関西域内への工場回帰も進んでいる。特に、兵庫県内の2006年の工場立地数は115件で、21年ぶりに全国1位となった。

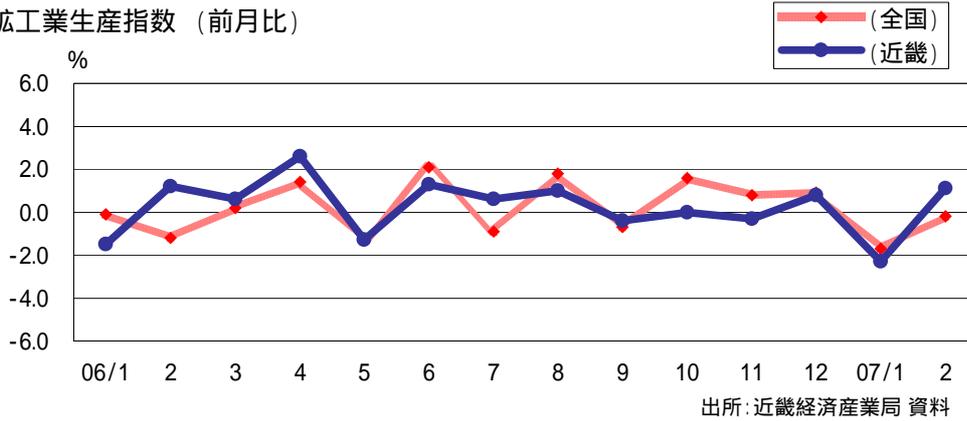
設備投資の増勢による、地域景気のさらなる拡大が期待される。

各指標の動き



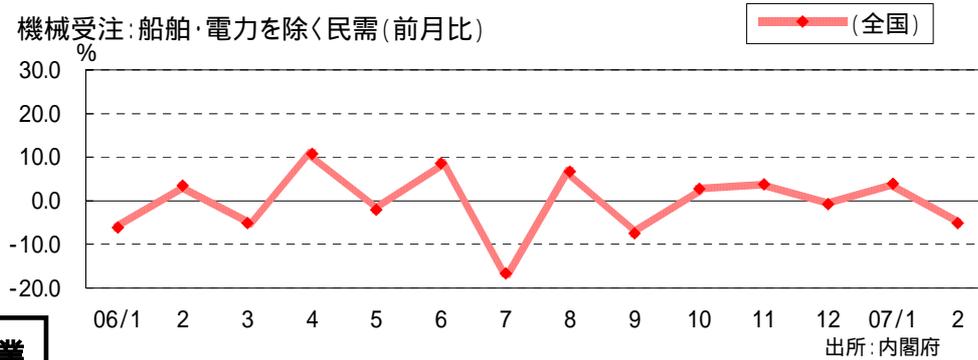
生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 1.1% 増と 2 ヶ月ぶりに増加した。情報通信機械工業、一般機械工業などが増加に寄与している。

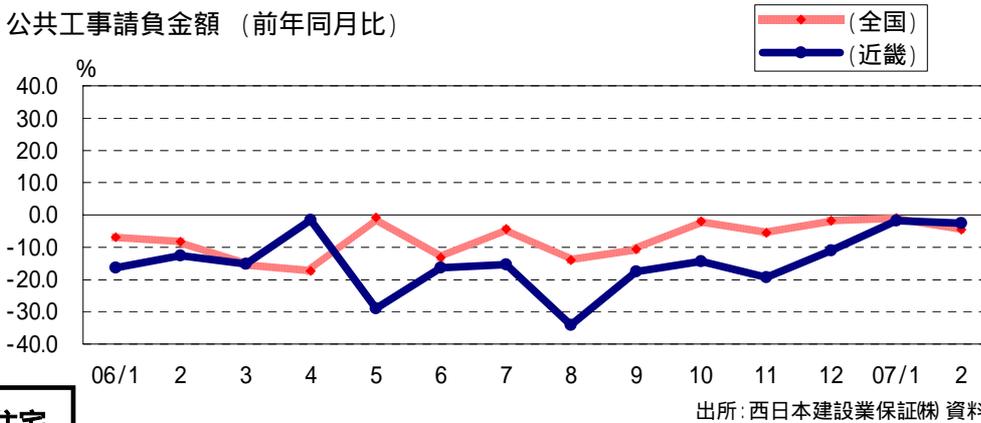
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 5.2% 減となった。業種別の受注は製造業が同 9.0% 減、非製造業(船舶・電力を除く)は同 0.1% 増となった。

公共事業

公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 2.6% 減。発注者別では「市町村」で大幅増、「独立行政法人等・国」で 2 桁増となったものの、「府県・その他公共的団体」で大幅減となった。

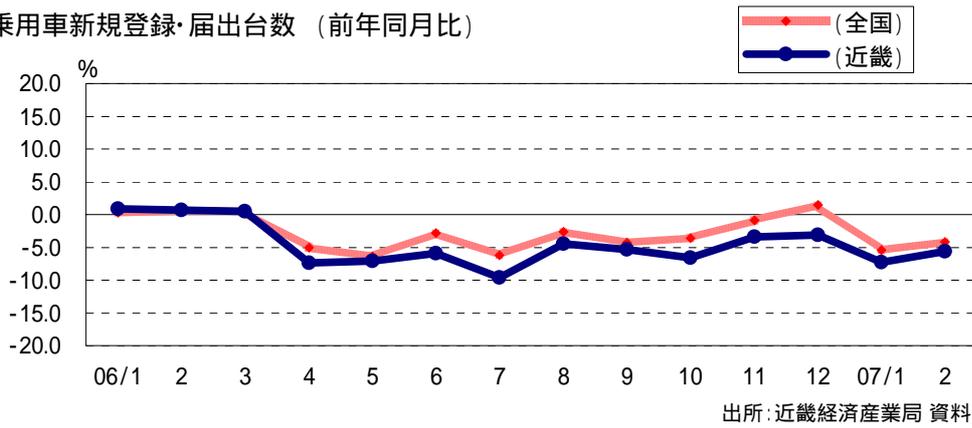
消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



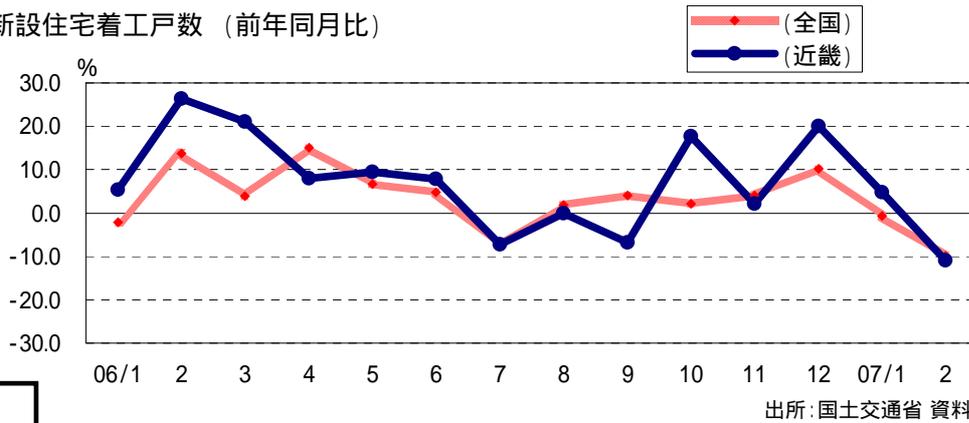
近畿は既存店ベースで前年同月比 1.2% 増と 6 ヶ月ぶりのプラスとなった。前年に比べて土日が一日増となったことや、一部店の閉店セールが寄与。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比5.6%減と11ヶ月連続で前年を下回った。普通車が2ヶ月連続で、軽四車が9ヶ月連続で前年を上回ったものの小型車が11ヶ月連続で前年を下回った。

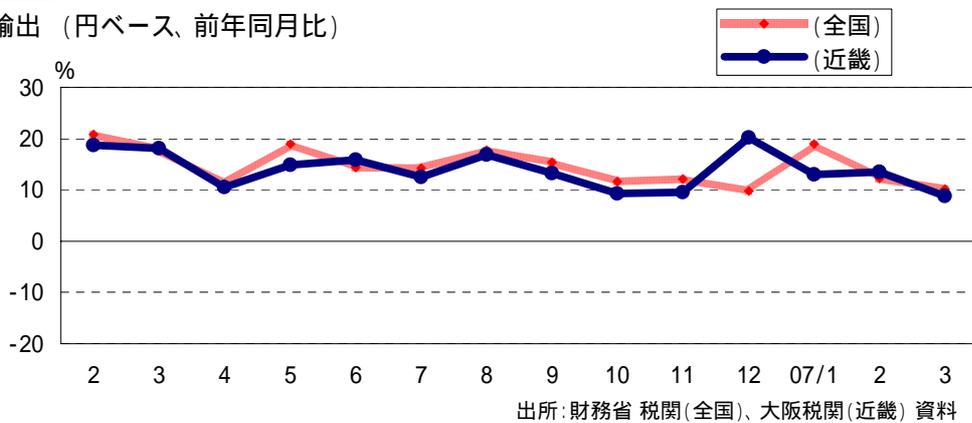
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比11.0%減と5ヶ月ぶりに前年を下回った。持家が2ヶ月ぶりに貸家が5ヶ月ぶり、分譲住宅が2ヶ月連続で前年を下回った。

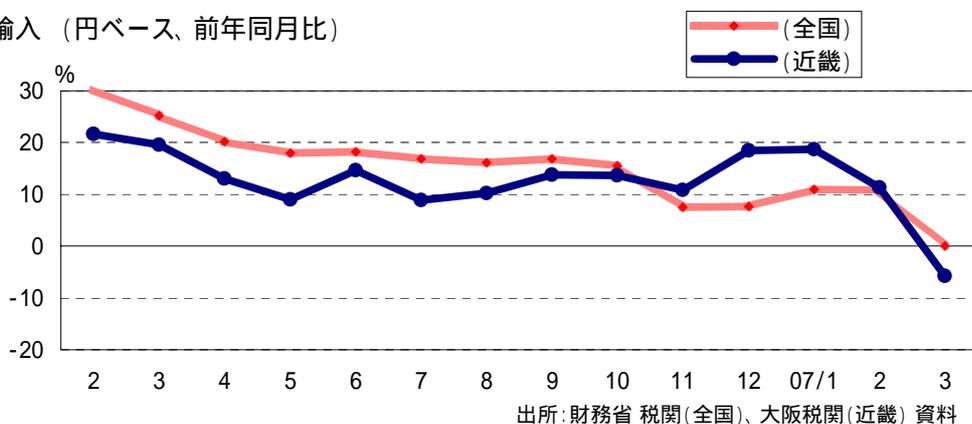
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿(3月指標値)は前年比8.8%増で60ヶ月連続のプラスとなった。半導体等、建機、非鉄金属が過去最高額を記録。

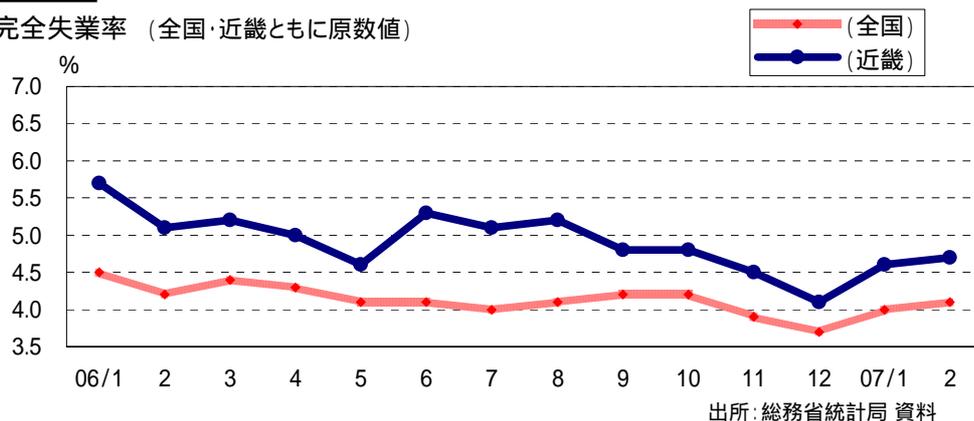
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿(3月指標値)は前年比5.7%減で38ヶ月ぶりのマイナスとなった。中国からの輸入が49ヶ月ぶりのマイナスとなった。

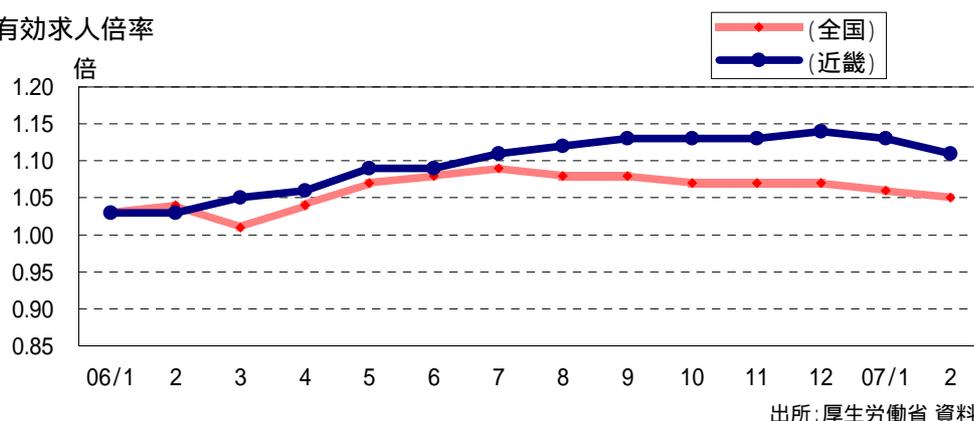
雇用・倒産

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



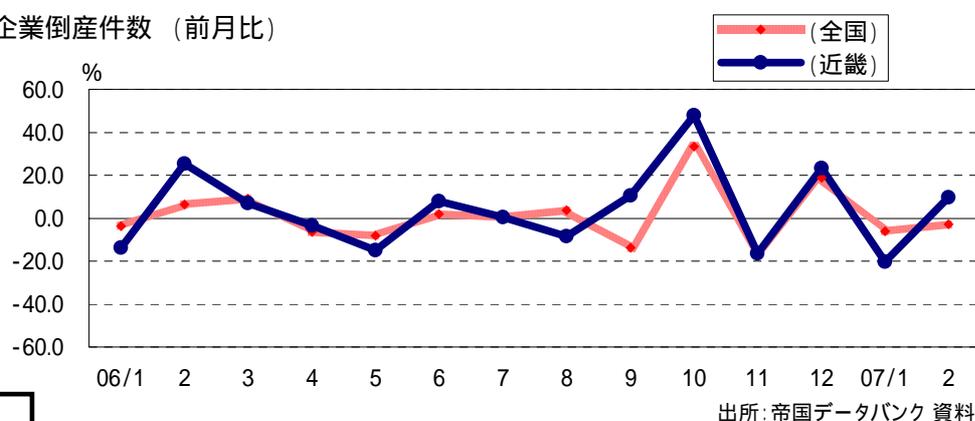
近畿の完全失業率は4.7%で、6ヶ月連続で前年を下回った。基調として、引き続き緩やかに改善している。

有効求人倍率



近畿は前月から低下し、1.11倍となったが、引き続き全国（1.05倍）を上回る数値で推移している。

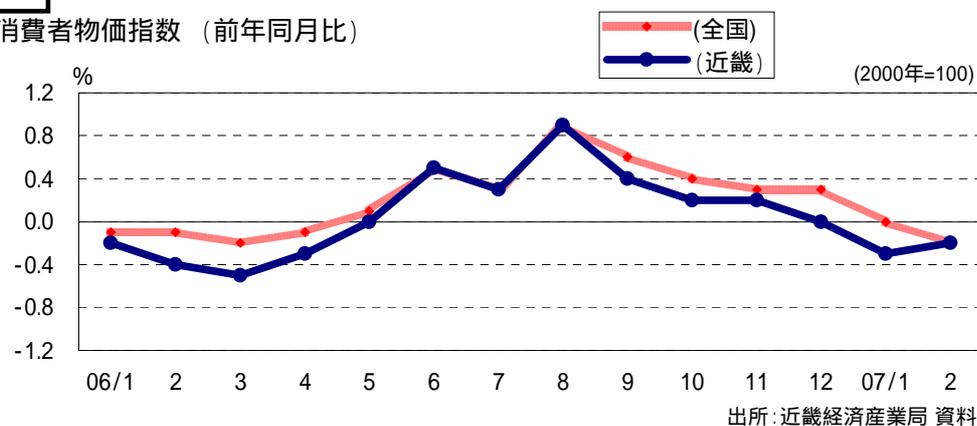
企業倒産件数（前月比）



近畿の倒産件数は前月比9.6%増。件数は増加、負債は減少という流れは変わらず、中小零細企業の倒産が頻発していることを示している。

物価

消費者物価指数（前年同月比）



近畿は99.2で前年同月比0.2%減となり2ヶ月連続で低下。家具・家事用品、教養娯楽、住居、食料、交通・通信、保健医療が低下。